

## 事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

### 1 事業者等の概要

氏名又は名称	アルピコホテルズ株式会社 (旧東洋観光事業株式会社)					
代表者名	氏名	深澤 洋充	役職名	代表取締役社長		
主たる事務所の所在地	長野県松本市本庄1-2-1					
主たる事業の分類	大分類	M 宿泊業、飲食サービス業				
	中分類	75 宿泊業				
主たる事業の概要	ホテル、観光、別荘・不動産事業					
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	kl	4,089	3,966	2,917	3,388	
エネルギー起源二酸化炭素排出量	t-CO <sub>2</sub>	8,602	8,343	6,135	7,140	
その他ガス排出量合計	t-CO <sub>2</sub>	0		0		
自動車の台数	台	18		18	18	
自動車からの排気ガス合計	t-CO <sub>2</sub>	65				

### 2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	2019	年度	計画期間	2020	年度～	2022	年度
報告対象年度	2021	年度					

### 3 計画書（報告書）の公表方法等

<input checked="" type="checkbox"/>	ホームページ	http://www.alpico.co.jp/hotels/company
<input type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	
<input type="checkbox"/>	その他	

#### 4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

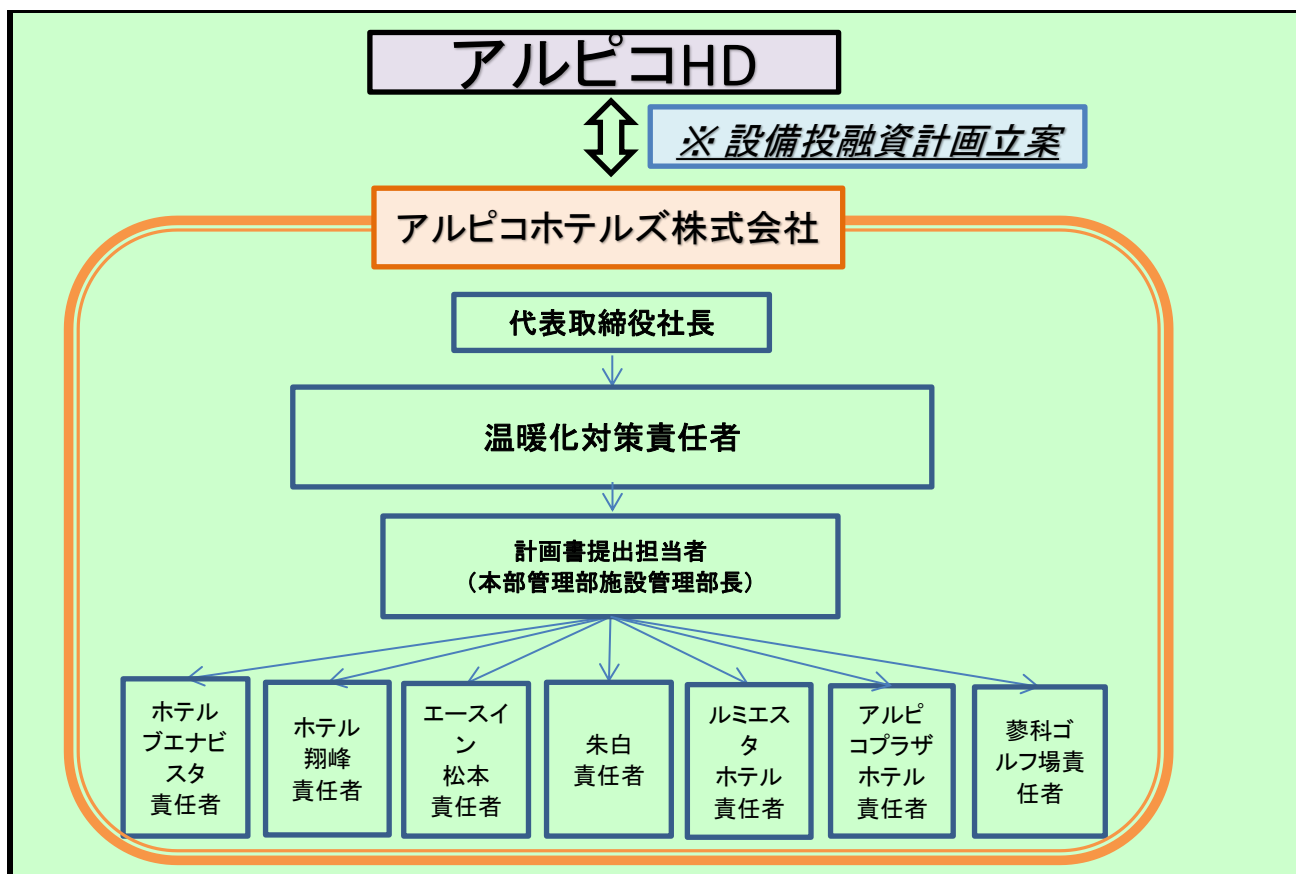
##### <運用面>

- 従業員への省エネ啓蒙（こまめな消灯、階段利用等の慣習化）。
- エアコンの温度管理（バックヤード）、消費機器の定期的なメンテナンス、OA機器等の待機電力削減。

##### <設備面>

- 老朽化設備の高効率設備（ボイラ、空調機器）への更新を計画的に実施。
- 設備更新だけでなく、建物内システムの抜本的な見直しを進め、効率的なエネルギー活用を検討、実施していく。
- 旧型ファンの更新に合わせ高効率インバーターファンを採用していく。

#### 5の1 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



#### 5の2 温室効果ガス排出抑制のための会議体等の名称及び開催頻度

- ・エネルギー使用状況検討会(1回/月)

様式1号  
(総括票)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	8,602	t-CO <sub>2</sub>	売上高	6,457	単位	百万円
2019年度	調整後排出量	8,602	t-CO <sub>2</sub>	基準原単位	1.33	t-CO <sub>2</sub> /	百万円
目標年度	目標排出量	8,343	t-CO <sub>2</sub>	目標原単位	1.29	t-CO <sub>2</sub> /	百万円
2022年度	目標削減率	3.0	%	目標削減率	3.0	%	
目標設定に関する説明	<p>○目標排出量については、省エネ法（年平均1%の原単位削減義務）に基づく削減計画とリンクさせ設定。            ※ 具体的な削減施策は、運用面、設備面（高効率設備への更新、効率エネルギー使用方法の検討、実施）の双方から実施していく。            ○原単位設定は、売上高（来客数）によりエネルギー使用量が大きく左右される為、各施設の売上高合計額にて設定。</p>						
第一年度	排出量	6,135	t-CO <sub>2</sub>	売上高	2,926	単位	百万円
	削減率	28.67	%	原単位	2.10	t-CO <sub>2</sub> /	百万円
2020年度	調整後排出量	6,135	t-CO <sub>2</sub>	原単位削減率	-57.90	%	
	削減率	28.67	%				
排出量等の増減理由	<p>コロナ感染拡大に伴い、休業・時短営業となった事業所が多くあり、排出量・売上高共に大幅に減少した。これに伴い原単位も悪化となった。</p>						
第二年度	排出量	7,140	t-CO <sub>2</sub>	売上高	4,386	単位	百万円
	削減率	16.99	%	原単位	1.63	t-CO <sub>2</sub> /	百万円
2021年度	調整後排出量	7,140	t-CO <sub>2</sub>	原単位削減率	-22.56	%	
	削減率	16.99	%				
排出量等の増減理由	<p>コロナ感染拡大の影響により、基準年度と比較し売上高が大幅に減少にしたため原単位も悪化となった。</p>						
第三年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>	売上高		単位	
	削減率		t-CO <sub>2</sub>	原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2022年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位削減率		%	
	削減率		%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

様式1号  
(総括票)

6の2 エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	0	t-CO <sub>2</sub>			単位	
2019 年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	基準原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
目標年度	目標排出量		t-CO <sub>2</sub>	目標原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2022 年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量	0	t-CO <sub>2</sub>			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2020 年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2021 年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2022 年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位削減率		%	
	削減率		%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

様式1号  
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	65	t-CO <sub>2</sub>			単位	
2019年度				基準原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
目標年度	目標排出量		t-CO <sub>2</sub>	目標原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2022年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>			単位	
				原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2020年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>			単位	
				原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2021年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>			単位	
				原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2022年度	削減率		%	原単位削減率		%	
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

7 重点対策の実施状況

段階	番号	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I～II	I-1	燃料使用量等の定期的な把握						
	I-2	エコドライブの励行						
III	III-1	次世代自動車の導入計画						
IV	IV-1	次世代自動車の導入						

様式1号  
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	区分 番号	対策内容	計画		状況	
				実施予定 年度	削減見込量 (t-CO <sub>2</sub> )	実施 年度	推計削減量 (t-CO <sub>2</sub> )
1	エネ起	110203	高効率設備への更新（エアコン、温水ボイラ、吸収式）	2021～ 2022	20	2021	10
2	エネ起	120204	熱交換器の更新（翔峰：9器）	2021～ 2022	10	2021	10
3	エネ起	150201	高効率照明への更新（LED）	2021～ 2022	50	2021	20
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							

9 自然エネルギー源利用設備等の導入計画及び状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度

様式1号  
(総括票)

10 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績 (所、t-CO<sub>2</sub>)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上								
1,500k1以上 3,000k1未満								
1,500k1未満	7	8,602	7	6,135	7	7,140		
合計	7	8,602	7	6,135	7	7,140		

11 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績 (t-CO<sub>2</sub>)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO <sub>2</sub>				
CH <sub>4</sub>				
N <sub>2</sub> O				
HFC				
PFC				
SF <sub>6</sub>				
NF <sub>3</sub>				
合計	0	0	0	0

12 次世代車使用台数等の導入状況 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車				
電気自動車	1	1	1	
燃料電池自動車				
クリーンディーゼル自動車				
その他 (ハイブリッド等)				
合計	1	1	1	0
自動車総数	18	18	18	
次世代車導入割合	5.6	5.6	5.6	

様式1号  
(総括票)

1.3 交通対策状況

区分	実施内容
公共交通機関の利用促進	公共交通機関網が整備された施設への通勤は、公共交通機関利用及び徒歩を推奨。月1回ノーマイカーデー実施。
自転車の利用促進	
来客者の交通対策	アルピコホテルズ株式会社として送迎バスを運行（ホテル翔峰⇄ホテルブエナ⇄松本駅）。
物流の合理化	

1.4 環境配慮活動状況

環境配慮活動	活動内容の詳細		実施年度
	実施内容		
<input type="checkbox"/> SDGs	長野県SDGs登録制度へ登録している		
<input type="checkbox"/> 環境マネジメントシステム	環境マネジメントシステムを導入している		
	名称		
<input type="checkbox"/> TCFD提言	気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）支持を表明している		
<input type="checkbox"/> グリーンボンド	グリーンボンドを発行している		
<input type="checkbox"/> ESG投資	ESG対話プラットフォームに登録している		
<input type="checkbox"/> SBT	SBT を策定済、またはコミットしている		
<input type="checkbox"/> RE100	<input type="checkbox"/>	RE100にコミットしている	
	<input type="checkbox"/>	再エネ100宣言RE Action へ参加している	
<input type="checkbox"/> その他			

1.5 自由記載欄